

か

議会だより

み

9月定例会
第19号



— CONTENTS —

- **20年度決算認定** 2～3
- 町長 年俸500万円に 7
- 住民の声 届くか (12人が一般質問) 10～15
- この人 ここにあり 16

(おじるスポーツフェスティバル21)

20年度決算を認定

9月定例会中に決算特別委員会（上田勝幸委員長他6名の委員で構成）において、一般会計及び12特別会計の審査を行いました。
 一般会計は127億9688万円、特別会計は78億6479万円、総額206億6167万円の規模で、前年度比は歳入8.8%、歳出は8.5%の減額となっている。
 一般会計は国の補正による定額給付金事業等により増額となっている。また、単年度実質収支は1億5569万円の赤字となった。
 定例会最終日に、決算特別委員長より委員会報告（いずれも原案認定）があり採決の結果、一般会計、特別会計とも賛成多数で平成20年度決算を認定しました。

主要な施策

健康福祉部

- ◆ 後期高齢者医療事業 2億1,470万円
- ◆ 乳幼児等医療費助成事業 3,599万円
- ◆ 高齢者等生活支援事業 1,762万円
- ◆ 児童手当 1億4,639万円

総務部

- ◆ 定額給付金給付事業 1億5,770万円
- ◆ 余部鉄橋架替関連事業 2,607万円
- ◆ 町民バス運行事業 1,685万円
- ◆ 若者定住対策事業 301万円

産業部

- ◆ 中山間地等直接支払事業 7,866万円
- ◆ 温泉保養館整備事業 8,063万円
- ◆ 観光振興対策事業 2,332万円
- ◆ 有害鳥獣対策事業 547万円

教育委員会

- ◆ 小代小学校体育館整備事業 2億819万円
- ◆ 遠距離通学児童援助事業 648万円
- ◆ トライやるウィーク推進事業 233万円
- ◆ 村岡区中学校統合準備事業 4,085万円

建設部

- ◆ 町道新設改良事業 2億2,478万円
- ◆ 除雪対策事業 1億405万円

質疑

問 若者まちづくり懇話会とは

答 町内の若い世代からまちづくりについての建設的な意見を求め、平成17年7月より設置されている。各種イベントや若者の定住・少子化対策について提言を受け、行政に反映させています。

問 国際交流協会の活動内容は

答 町内に3つの団体があり、ALT（外国語指導助手）との交流、広報作成、ホームステイの受け入れを行っています。

問 認定子ども園とは

答 平成18年に法律が制定され、保育所機能と幼稚園機能を併せ持ち、就学前児童の教育・保育を一体的に提供する新しい形態の子ども園です。

問 地産地消推進について成果は

答 平成18年度から山の食材は海側の小売店を通して民宿等へ提供し、観光と農業の振興を図っています。19年度よりJAに委託している。但馬牛、野菜等が主に流通しています。

平成20年度

一般会計歳入・歳出

反対討論

谷口 眞治 議員
 早期健全化団体からの脱却を図るべきでありながら、基金を積み立てている。基金を利用し、借金を返済するべきだ。町民に負担を強いるこの決算には反対する。

後期高齢者医療保険 特別会計

反対討論

谷口 眞治 議員
 後期高齢者医療保険制度は、高齢者いじめた。高齢者に負担を求めるこの事業会計決算は認めるわけにはいかなので反対する。

賛成討論

小林 利明 議員
 決算議案であり、結果についての意見はあると思うが、次年度予算で意見すべきだ。したがってこの決算については賛成する。

企業会計決算を認定

6月定例会において提案された企業会計（公立香住病院事業会計・上水道事業会計）は病院会計を総務民生常任委員会へ、上水道会計を産業建設文教常任委員会へ審査が付託されましたが、9月の定例会で委員長よりそれぞれ審査報告が行われ、採決の結果、全員賛成で認定しました。



指定管理者 鉢伏開発観光(株)へ

代表者 多田 真基

- ◆ 指定期間 平成21年10月1日～同24年3月31日
- ◆ 指定管理料 年間450万円



鉢伏開発観光(株) ハチ北事務所

選定は、ロッジかどま(門真市村岡自然ふる里村)と交流センターは、その構造も運営も一体的施設としてきたことから、ロッジかどまの売却先を指定する以外に選択の余地はないとしながらも公募で行った。
選定にあたり鉢伏開発観光(株)は、施設の活用として、スキー場経営等で蓄積した顧客をベースに夏季も山岳観光の企画などで集客を図る。また、昭和37年から経営する中で地域との連携の重要性を十分に認識し、地元の地域づくりに尽力するとされたことが選定の理由となった。

質疑

問 指定管理料の決定した理由は何か
答 交流センターをオープンしなくても300万円必要となり、オープンすると200万円の経費が加わる。計500万円が必要と判断し、このことから450万円を指定管理料としました。

問 地元の住民の声は
答 和池区から「第三者機関が経営しても姉妹都市のシンボルとして運営を」とする要望書が、門真市に提出されています。

問 雇用の予定は。事業年度はいつか。企業誘致による税の軽減の考えは
答 社員は3名。パート3〜4名となります。事業年度は6月1日から翌5月31日までです。企業誘致条例は適合しません。ただ、ロッジか

どまが売却されて、町に固定資産税が300万円入ることになります。前任の指定管理者へは300万円支払っていたので、今回450万円としました。

問 香美町は姉妹都市を継続するのか。入り込みの努力を香美町がやり、住民への責任を果たせ
答 今年も門真市自治会の人達が交流に来られ、今後も姉妹都市の提携は続くと考えています。

問 政治的判断の管理料と考えられるが
答 管理者から経費増となることの支援の要望があった。観光や地域振興、財政等から総合的に判断したし、先にロッジかどまの売却が報道された方ないこともありまし

条例改正

◆ 国民健康保険条例の一部改正条例について
平成21年10月1日から平成23年3月31日までに出生する者に係る出生育児一時金の特例を35万円から39万円に、医療補償加入者の38万円を42万円に引き上げる改正です。

◆ 消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例について
消防法の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。

◆ 香美町農林漁業体験実習館「村岡・都市と農村交流センター」条例の一部改正条例について
門真市所有の門真市村岡自然ふる里村を売買契約の締結により運営協議会を廃止することに伴う条例改正です。

◆ 全員賛成で可決

◆ 町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正条例について

6月議会で町長、副町長、教育長の給与と年俸500万円が否決されましたが、今議会では、町長だけの給与を選挙公約である年俸500万円とするため、給与を平成21年10月1日から25年5月14日までの間、81万8000円を41万6600円とする。ただし、21年10月1日から22年3月31日までの間は25万1000円とし、さらに期末手当は支給しないとする条例改正です。

質疑

問 町長の給与の500万円年俸制提案の考え方は
答 報酬審議会が再開できるか懸念していましたが、今議会でも多くの議員のご意見を参考にして、審議会で審査の上、答申をいただいたので提案しました。

問 副町長、教育長の特別職給与の減額は考えていないか
答 特別職は6月議会で議会の同意が得られなかったため、考えていません。

問 今回の給与の減額により生み出した財源はい

くらで、その財源の活用方法は

答 通年で給与420万円、共済等約110万円の合計約530万円ですが、本年は5月からですので、給与分と共済等含めて420万円です。教育・福祉・まちづくりなどに活用したいと考えています。できれば、今年度中に補正も検討したいと考えています。

問 町長の選挙公約である退職金廃止は、どう考えているか
答 議決いただいたから退職手当組合に廃止を申し入れます。廃止できない場合は、公職を離れた

時点て方法を考えます。

6月議会で否決の副町長2人制、特別職年俸500万円の再提案は考えていないか

答 これ以上の副町長、教育長の空白期間を作らないため今回提案しましたので、考えていません。

問 町長給与減額となれば、特別職、職員減額と波及させるのが町民の声となるが、波及させるつもりはないか
答 特別職、職員の給与は既に減額しており、ラスパイレスが92で、県下で一番低く、職員の給与減額は考えていません。

人事案件

◆ 副町長



いちむらき やなぎ 柳村純一 氏

◆ 教育長



つぐいま いま 西俊継 氏



契約案件

平成9年に購入した塵芥車が老朽化したため、更新をするものです。

1. 契約の目的
塵芥収集車を1台購入
2. 契約の方法
制限付一般競争入札
3. 契約の金額
882万円
4. 契約の相手方
香美町香住区七日市41番地
有限会社
タムラモーターズ
代表取締役 田村 勇

全員賛成で
可決しました



個別外部監査を実施するための議案

全員一致で可決

20年度決算において実質公債費比率が26・6%となり、財政破綻の一手前とされる「早期健全化団体」となり、同町に義務付けられることによるものです。行財政改革は計画通り進んでいます。

合併翌年度の06年度に発表された香美町の実質公債費比率28・8%は全国でワースト7番目でありました。それを受けて行財政改革大綱を策定し、町長の32%を最大に議員職員等と人件費を削減。補助金カットや遊休地の売却を進めるなどして歳出の削減を図ってきました。また、町民皆さんの理解を得ながら公共施設の使用料の値上げを実施し、その結果起債の繰り上げ償還を行うことで当初予定の平成25年度より3年早く早期健全化団体を脱却する予定です。

「協同労働の協同組合法」(仮称)の速やかな制定を求める意見書

今日、日本社会が構造的に変動する中で、労働環境にも大きな変化が押し寄せ働くことに困難を抱える人々の増大が社会問題となっている。

香美町でも、ひきこもりなど社会とのつながりがつかない若者、ニートなど働けない若者、働きたくても働けない人々がいる。

「協同労働の協同組合」は、働く者が出資しあい、全員参加の経営で仕事を行なう組織であり、「働くこと」を通じて、「人と人のつながりを取り戻し、コミュニティの再生を目指す」活動を続けている。

これらの活動を活発にしていくためには、さらに社会的理解を深める法制度を整備していく必要がある。すでに欧米では、働く仲間同士が協同し、主体性を高め合い、力を発揮しあう新しい働き方＝労働者協同組合(ワーカーズコープ等)についての法制度が整備されている。

誰もが希望と誇りを持って働く、仕事を通じて安心と豊かさを実感できるコミュニティをつくる、人とのつながりや社会とのつながりを感じる、こうした働き方をめざす協同出資・協同経営で働く協同組合は、住民事業による住民主体のまちづくりを狙うものであり、働くこと・生きることに困難を抱える人々自身が、社会連携の中で仕事を興し、社会に参加する道を拓くものである。

こうした社会の実状を踏まえ、国において「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年9月30日

衆議院議長 横路 孝弘 様
参議院議長 江田 五月 様
内閣総理大臣 鳩山由紀夫 様
厚生労働大臣 長妻 昭 様
総務大臣 原口 一博 様
経済産業大臣 直嶋 正行 様

兵庫県美方郡香美町議会議長 吉田 範明

請願

協同労働の協同組合法(仮称)の速やかなる制定を求める請願書

請願者 大阪府大阪市中央区船越町1-6-2 アズタビル5F
日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会
センター事業団 関西事業本部
本部長 奥 治
紹介議員 小林 利明

【請願事項】

「協同労働の協同組合」は組合に参加する人すべてが、協同で出資し、協同で経営をするという協同で働く形をとり、「働くこと」を通じて、「人と人のつながりを取り戻し、コミュニティの再生をめざす」活動を目的としている。

事業内容は、介護・福祉サービスや子育て支援、清掃請負・オフィスビルの総合管理など幅広く、企業で正規に雇用されない若者や退職した高齢者が集まり、働きやすい職場を自分たちで作成、「フリーター」や「ワーキングプア」の受け皿として期待されている。

日本でもこのような働き方や法人を認めるための「協同労働の協同組合」の法制度を求め、推し進めるため国会でのしっかりとした議論と速やかな制度を強く要望するために決議の上、政府及び関係行政官庁あてに意見書を提出すること。

産業建設文教常任委員会に付託

委員会審査では紹介議員から意見聴取した。紹介議員にはあらかじめ参考資料の提出を求めており、説明を受け質疑を行なった。

委員会の採決では全員賛成で採択となる

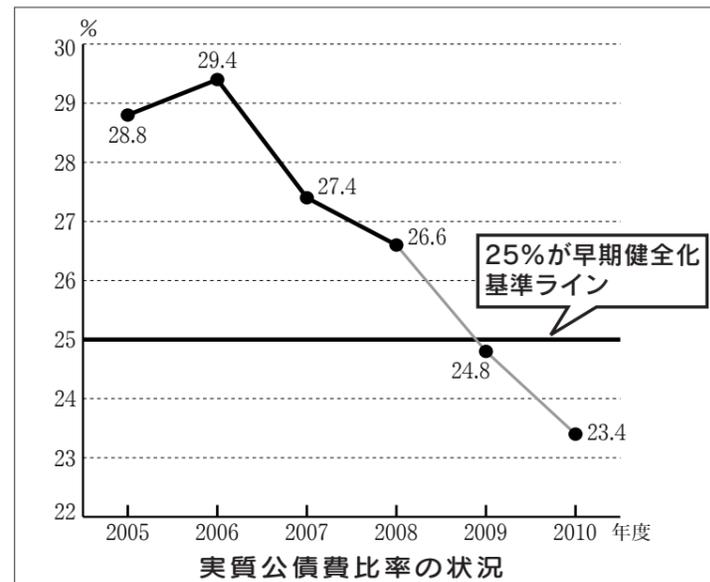
本会議場にて産業建設文教常任委員長より審査報告があり

採決の結果 全員賛成で採択となりました

質疑

問 監査委員から町長に対して監査をするのがどのような監査か
答 香美町では通常のことに付いては内部の監査委員で行ない、実質公債費比率が25%以上のものについて外部監査で行ないます。

問 どんな資格の人がするの。また、どのくらい時間がかかるのか
答 公認会計士を考えています。次年度の予算に反映させるため概ね2カ月程度です。報告をしていただくこととしています。



知恵袋

自治体財政健全化法とは

北海道夕張市のような自治体の財政破綻を未然に防ぐため2007年6月に成立、09年4月に全面施行された。一般会計に含まれない公立病院や第3セクターなどの「隠れ赤字」を把握するため、連結実質赤字比率など四つの財政指標を用い財政健全化団体と財政再生団体の2段階で悪化度をチェックする。各自治体は毎年度の決算に基づき指標を算定、監査委員の審査を経て議会に報告、公表する。

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月7日と8日に12名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



災害時対応に万全を

全国、近隣市町で災害が発生している。町民の安全、財産、生活を守る自



岡田 公男 議員

町民を守る自然災害対策は 対応・体制を整えています

然災害対策を問う①町道の安全確保、管理は万全か②観光産業を重視する上で観光地を結ぶ町道の整備は現状で十分か③自然災害、水害発生危険度を把握しているか対策は、改善を県に要望しているか④災害発生予告、事前の正しい判断、町民

の安全を守るための避難勧告基準、県との連携、休日夜間の発生時を含む町の対応、体制はどうか

町長

①線形不良、幅員狭小、落石危険箇所があります。改良整備の必要箇所は計画的に、交通支障の時は早急な対応を進めています。被害に強い道路管理、安全な生活道路の確保に心がけます。②基幹的道路整備の重要性を認識した上で対応工事を進めます。③危険地は各自治区に図面で説明しています。④町の地域防災計画を策定しています。職員体制を整えて災害時は24時間体制で対応できるようにしております。



町を上げて水産業の振興を

漁業の近代化を図る漁船の建造は、近年の漁業の低迷、また漁船の建造費が高額なため、意欲が薄れていると聞いている。この状況は、香美町の基幹産業である水産業の



寺川 秀志 議員

水産業への支援を施策で示せ 財政が健全になってから考えます

大変な危機である。そこで、漁業者の経営の安定化を図るとともに、水産業の振興のため、積極的な漁船建造の促進を図るためにも、町の制度である漁業近代化資金への利子補給を現行の7年を15年にすべきだ。町長の所見を伺う

造または取得のため、漁業近代化資金を借入れた場合に、7年の期間に利子補給を行なっています。内容につきましては、1事業につき1億円以内で年間70万円の利子補給を行っています。町ができる支援は行っていきたく思います。が、財政の厳しい状況ですので、財政を健全なものにする中で考えていきたく思っています。



先頭に立って財政改革に取り組みます



西川 誠一 議員

町長が公約した改革はできそうか 通常業務に追われできていません

み等の変化はあるのか。実現の手ごたえがあれば具体的に示せ。

また、改革の第一歩である町長年俸を500万円にするという公約は6月の定例会で否決されたが、マイナス要因を削除して今定例会に再提案しないというのは町長の改

革への意気込みがなくなつたということとなり町民は失望しているがどう考えるか

町長 通常業務に追われ、あつという間が過ぎ、目に見えないのが現実です。これから進めていき

ます。

年俸500万円で作るという公約は、特別職報酬審議会に再度お願いすることができなくて再提案していません。できれば12月定例会には出す運にしたいなと思つています。(この議案は9月定例会中に追加議案が出され可決されました)



大型柵で一網打尽



森 利秋 議員

猿対策 大型柵で多頭捕獲せよ! 大型捕獲柵で何とか 捕獲したい

餌づけ用の大型捕獲柵を設置して多頭捕獲せよ! この大型柵は、小代区では昭和50年代に既に経験されている。近くでは滋賀県甲賀市も最近実施し、多頭捕獲している。現在

小代区に設置している小型の捕獲柵12基ではわずかな頭数しか入らず、頭数管理できる状況ではない。また、最近その檻には入りにくくなつているのが現状である。発信機による位置確認と追い払い、駆除活動、バツファゾーン、防護柵、サルボイ犬等のさまざまな猿対策がなされてきた。今求められているのは抜本的な対策である。餌づけ用

の大型捕獲柵を設置して多頭捕獲すべきと考えるが、町長の考えを問う

町長 町民の皆さんは大変な思いで猿対策をやつておられます。今の県や国の対策では住民との思いの乖離があると感じています。大量に捕獲して減らす必要があります。大型捕獲柵で捕獲したいです。予算も検討いたします。



公約の達成は？

長瀬町長はこの4月の選挙で年俸500万円、副町長二人制内1人は女性、教育長と併せて公募報酬も減額すると公約され、それが町民の支持を受け当選された。



植田 隆博 議員

当選後100日経つが公約の一つも実行されていない。百点満点で評価すると0点だ。現在の心境を町民にも向け答弁を求める

と併せて公募は断念しますが、私の報酬500万円の公約についてはどんな形になるかわかりませんが、例えば公職を退いた後に結果的に年俸500万円だったと住民にわかるようにします。

町長 私は公約を掲げそれが町民の支持を受け当選しました。現在公約実現に向け議案を提出していますが思うようにはいきません。
副町長二人制、教育長

公約実現に向け現在の心境は年俸500万円の約束は守る



山・川・海で200万人を



田野 哲夫 議員

①小代、村岡、香住の三観光協会は一本化しない方向、均等性の問題の様

“二百万人目標”を大宣言せよ!!
二百万人誘客頑張る!! 検討したい

だか、どうか。

②アンテナショップの状況と、香美町営業マンの育成で営業活動をする“香美を売る”はどうか。

③入り込み客数140万人を“200万人目標”邁進する次年度予算を

町長 ①三つの協会の

別々の対応はしにくいです。香美町の観光として知恵を出し合い、一本化の中で判断して頂くのが一番ありがたいと思っております。

②アンテナショップの運営は本年から村岡振興公社が業務。販売実績は17年度400万円、20年度

1千200万円。補助金は400万円から80万円に減額、今後、特産品等のPR強化、観光ツアーの窓口業務に期待しています。

町職員全員がセールスマンと考えます。民間人の営業マン育成は検討していきます。

③200万人誘客の“頑張ろう”大宣言に向けて検討していきます。



なくなったら困ります

村岡区の三つの診療所
に村岡病院からの医師派
遣が病院建て直しのため



西坂 秀美 議員

3診療所の医師確保・存続は 医師確保に全力を挙げ存続したい

できないと聞く。病院経営と交付税繰り入れは切り離せない。交付税を繰り入れれば赤字は解消する。養父市長と香美町長との協議が必要と考えるが町長の考えを聞く。診療所の医師確保については、どんな考え、どんな状況か見込みを聞く。

存続は大丈夫か。万が一休止となった場合、患者対策はどのように考えるのか

町長 医師の確保については8月に全国自治体病院協議会や県の国保連合会に医師の公募をお願いし情報を収集しており

ます。医師確保に全力を挙げて3診療所を存続させたいと思っております。患者対策については、万が一、医師確保ができない場合の患者の送迎対策はしっかりと行い地域の方々の医療確保に努力をしてまいります。

養父市長とは色々相談する中で、積極的に進めたいと思います。



元気なまちづくりを



谷口 眞治 議員

基金を借金返済に充てよ 財政上、借金返済可能か検討します

町の財政運営について、6億6千万円以上の基金がありながら、町民に財政が大変だからと負担と我慢を求めるのは、理解できない。借金返済のための減債基金約2億円は、

すぐに借金返済に使い、早期健全化団体からの脱却を図るべき。そして、財政は黒字であり、早期健全化団体脱却の財政見通しができた今、補助金や施設使用料を見直して、町民への我慢を少し和らすべきと考えるが

町長 実質公債費比率の早期健全化基準は来年度下回る予定です。約2

億円の減債基金を取り崩すと実質公債費比率の早期健全化基準が1・0ポイント改善します。約7億円の基金は、災害等、緊急な財政支出に必要ですが、財政上、借金返済に充てることが可能か検討します。しかし、補助金や使用料の見直しは、平成23年度から25年度に財源不足が予想され、引き続き行財政大綱を実行する必要があります。考えていません。



町による出会いの場の提供を

直近の国勢調査を見ると、本町で結婚されたことのない30歳から49歳の男性は、平成7年度調査で593名、19・6%、12年度では685名、24・8%、17年度では73



岸本 正人 議員

町長 結婚対策は過疎対策の中でも重要な対策ではないかと思えます。町としても出会いの機会を提供することに努力し

0名、30・7%となつてい。香美町全体の人口が減少しているなかで、逆に人数、比率は増加している。現在ほもつと増えているのではないか。結婚対策が一番の重要な問題だと思ふが

しております。関係機関との連携を図りながら、結婚支援対策を進めます。また子育て安心基金の関係で、結婚対策の事業も取り組めるようになっております。内容は検討段階ですが、県には概略を提出しています。

結婚支援対策をどう進めるのか 関係機関と連携を図りながら進めます



交通費の一部負担をして通う子ども



山本 賢司 議員

年俸500万円は長瀬改革と言いつつ続けている。それなら、まず、町長自

節約した金は通学対策に 義務教育は公平で負担しないように

らを年俸500万円の条例に、この9月議会で改めよう。一般会計の9月補正の中には、議員報酬、手当で724万円減額がある。町長の年俸を500万円にすると、424万円の減額になり、「この財源を、通学対策、通園対策に使います」と、

町長 21年度予算は議

決する立場にあり、このまま進めたいです。その中で、21年度、できることから反映させます。財源のことがありますが、各区の活性化、通学対策等に充てたいです。就学等の支援など、基本的には、義務教育はどこにいても、公平で負担のないように、と考えており、配慮します。

この人にもあり

(小代区)



上田 信子さん

今回は、小代区秋岡地区「タンポポの会」代表上田信子さんにお話を伺いました。

会の名称は

「タンポポ」のように根が深く強く、種子が飛んでどんどん輪が広がっていくようにと願いつけました。



結成された動機は、またどんなメンバーですか

国道482号の対岸にある下水処理場に通ずる道路沿いを少しでも景観を良くしようと有志により、草を刈ったり、持ち寄りの花を植えたりしていましたが、この場所は溪谷まつりの会場をはじめ、自然学校で来町する子どもたちや町の子どもたちが川遊びに行く道沿いでもあり、お年寄りが野花を摘みながらゆつくりと散策を楽しむこともあり、もつと美しくとの

思いを持つ人を募り、10名のメンバーが集まり、会の発足となり現在15名の会員となりました。



活動して嬉しかったこと、良かったと思ったことは

嬉しかったことは「いききサロン」で喜んでいただいています。この夏は、お年寄りの人と子どもたちの世代間交流で「そうめん流し」をし、皆に喜んでいただきました。良かったと思うことは「もみじ広場」もあり、道路沿いが美しくなることで、下水処理場の「イメージチェンジ」となり、遊びに来る人達に喜んでいただいていることです。

苦労されたことは

埋立地であり石が多く、雑草が茂り、草刈り、草取りが大変ですが、堆肥を入れたり、刈り草を積むなどし改良に努め、水はけの悪い所には花菖蒲やカラーを植え、国道からも美しく見えるように花の高さなども考えながら管理をしています。

これからやりたいこと、抱負は

新しく山菜加工品の特産物ができればと思い、取り組んでいきたいと思っています。また、下水処理場周辺が遊び、楽しみ、多くの



人達が癒される場所になるよう、四季を通じて緑の中に鮮やかな花の色が映えるよう、管理していきたいと思っております。また、一人でも多くの参加がいただければと思っています。

編集後記

稲刈り、祭り、体育祭など地域の行事も一段落し、秋の気配を強く感じる頃となりました。11月に入り、松葉がにが解禁になりました。浜では、解禁を待たず香住がに(紅ズワイガニ)がマスコミに取り上げられ、活況を呈しています。また山では、スキーシーズンに向けての準備に忙しく、何かと気ぜわしくなってきました。ところで、人の営みは、毎日、毎年同じことの繰り返しの中で少しずつ前進し、その積み重ねが、人生の集大成となります。しかし現下の厳しい状況の中で思うに任せないこともありますが、「継続は力なり」一歩ずつ確かな歩みを続けていきたいものです。(H)

編集発行責任者

議長 吉田 範明

議会広報特別委員会

委員長 西村 伸一
副委員長 谷口 眞治
委員 寺川 秀志
田野 哲夫
岸本 正人
植田 隆博
吉田 増夫